

進路だより らしんばん



令和4年11月2日発行 第8号

【第5回進路希望調査について】

進路計画により、第5回の進路希望調査を実施します。3者面談や校内実力テストの結果を参考に生徒と家族がよく話し合って記入してください。

「記入の際の注意事項」

- 1 受験を検討している学校を希望順位に従って記入する。
- 2 私立高校の受験を希望する場合は、「一般」「併願推薦」「単願推薦」等の受験形態を記入する。
- 3 私立高校を複数受験する場合は、受験日が同日でないことを確認する。受験日が複数ある高校もあるので注意する。
- 4 私立高校の受験校が確定していない場合は、希望する順に記入する。

【推薦願について】

3者面談により、私立高校を推薦で受験する生徒は進路ノートのP27（単願の場合）、P31（併願の場合）の提出をしてください。また、2学期の成績によって受験する高校が変わる場合は、決まり次第提出して下さい。

「記入の際の注意事項」

- 1 希望校の欄は正式名称で記入する
- 2 受験コースが複数ある場合は、希望するコースを記入する。
- 3 2学期の成績によって受験する学校が変わる場合は、決定次第提出する。

「進路希望調査」及び「推薦願」提出期限

11月14日（月） 厳守

※推薦願については、この期限までに受験校が決定しない場合は決定次第提出する。

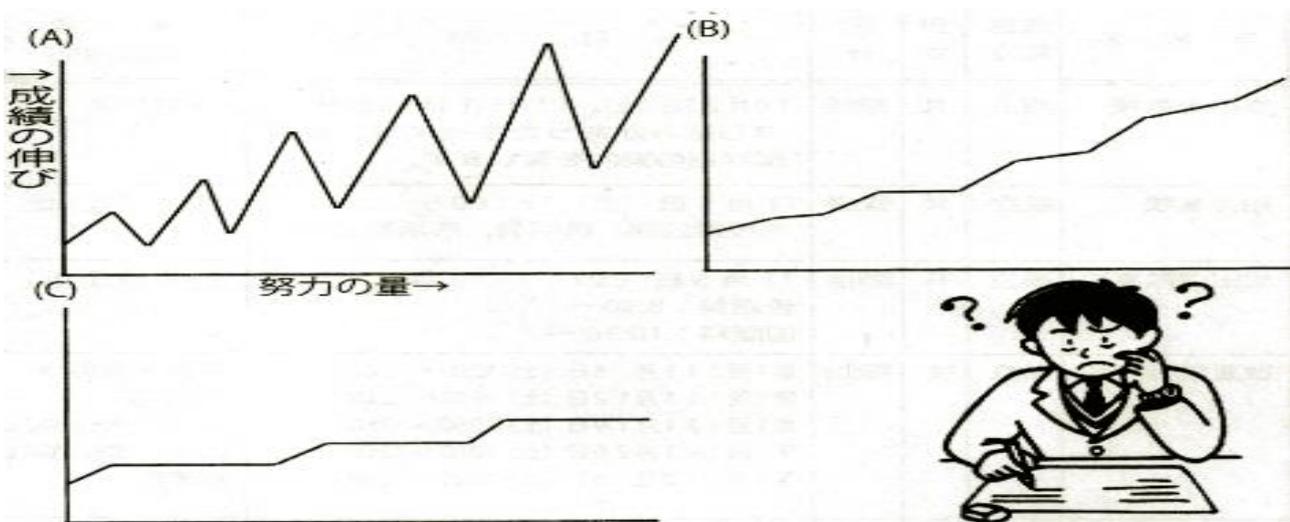
【願書用証明写真について】

先日撮影しました入試用証明写真は1人6枚配布します。公立高校願書の証明写真は2枚使用します。私立高校を複数受験し、写真が足りない場合は追加の注文が必要になります。また、高校によってはインターネット出願時に写真データでの提出が必要になる高校があります。写真の追加注文、データでの購入が必要な場合は、注文から1週間程度かかりますので、早めに担任に申し出てください。データは税込み550円です。

〜〜〜努力と成績の伸びの関係〜〜〜

今年学校で行う実力テストは残すとこ、あと2回になりました。毎回、結果が返されるたびに、喜んだ人がいればがっかりした人もいたのではないのでしょうか。そこで今回は「努力と成績の伸びの関係」について考えていきたいと思います。

まず、第一に勉強をしないことには学力は上がりません。そのうえで、勉強しても学力が上がらないという人は、勉強方法が合っていない可能性もありますが、下の図を見てほしいと思います。(A)～(C)はそれぞれの教科の「努力の量」と「成績の伸び」の関係を表したグラフです。



努力の量と成績の伸び方は教科によって違うのです。

まず (A) は国語 です。努力の量と成績の伸びが今ひとつはっきりしない。もちろん、文法や漢字などはやっただけすぐ成果も出ますが、文章の読解などはそう簡単には実力が付くものではないようです。しかし、努力をしていれば、長い目で振り返ると力が付いていることがわかります。

次に (B) は理科・社会 です。この教科は比較的 effort と成績は比例していきます。ただ、逆に言うと、努力を怠ると、あっという間に成績は落ちていってしまうものです。

最後に (C) は数学と英語 です。この教科は努力してもしばらく成績が上がらない状態が続きます。この成績が横ばいになる状態を学習心理学では、「プラトー(練習の高原)」と呼ばれます。数学と英語では、他教科と比べて「力を蓄積する」期間が必要と考えられます。

勉強の不安は勉強をすることでしか解消されません。今できる最大限の努力をしましょう。